

COSMORAMA

2002 May

64



コミュニティスクールバスの出発式



Culture & Human Resources

NAGOYA GAKUIN UNIVERSITY

インターネット インタビュー

中国の大学院に学ぶ

南開大学大学院に留学中の
山本未英さんに電子メールでインタビューしました。



Interview

山本 南開大学は中国三大都市の一つ、天津にあります。夏になると、キャンパス内は蓮の花がとても綺麗です。また、周恩来の母校としても有名です。ここ、南開大学だけでなく、中国の大学は小さな村のようにもなっています。キャンパス内に銀行や郵便局、売店やレストラン、市場、小学校や幼稚園などがあります。また、ほとんどの学校職員や学生がキャンパス内に住んでいます。ここ南開大学は海や川(作られたもの)がたくさんあり、とても綺麗な風景です。

現在の留学先である南開大学を紹介してください。



山本 未英 (やまもと みえ)

1993年5月 私立聖光高等学校卒業
1993年4月 本学外国語学部 中国語学科入学
1998年4月 本学大学院外国語学 研究科中国語学専攻 修士課程入学
2001年6月 中国・南開大学博士課程入学

PROFILE



COSMORAMA
MAY 2002 64

CONTENTS

Interview

- 1 中国の大学院に学ぶ
山本未英

Topics

- 2 2002年度入学式を挙行
3 学長に持田辰郎教授が就任
4 商学部改組への取り組み
小嶋博
5 名古屋学院大学ボランティアセンター
発足にあたって 水野晶夫

News Focus

- 6 2002年度入試結果と2003年度入試に向けて

Essay

- 7 シリーズ⑬ エッセイ
瀬戸産業史の現場 笠井雅直

Campus News

- 8 私の講義日誌 小松照幸
9 聖書と教室
名前の由来シリーズ① 六舎館
EXPO2005シンポジウム
地域を生かす博覧会を開催
10 サークル短信
文化会「陶芸部」
チャペルのかたすみで⑤
聖人について 山田直義

- 11 「シティーカレッジ2002」開講講座

Information

- 12 2001年度卒業証書・学位記授与式を挙行
木村光伸学長が退任
NGUチャペルコンサート
2002年度父母会総会と父母懇談会のご案内
加藤名古屋銀行頭取に
名誉経営学博士の学位を授与
2003年度大学案内を作成
2002年度新任者紹介
行事予定 5~10月

COSMORAMA (コスモラマ) の由来

「宇宙」や「世界」を表わすCOSMOS(コスモス)とPANORAMA(パノラマ)との合成語。19世紀にロンドンの街角でしばしば行なわれた世界各地の様子をのぞきみせるショーの名称として使われたのが最初。世界の動きに興味を持ち、大きな視点に立ってそれを見渡すことができるようにとNGU NEWSの愛称に採用しました。

中国の大学院に留学しようとした動機はなんだったのでしょうか。

山本 一言で言うてしまえば、「欲張り」なのでしよう。私は次の若い世代の人々に、より一層中国に関心を持ってもらいたいと思っています。

つまり自分自身の研究よりも、私にできることは中国語、または中国への関心を若い人たちがもっともっと深めるための橋渡し役になることではないかと思うのです。そういう訳で、自分の研究だけでなく中国語会話能力も同時にレベルアップしたいと思ったのです。そうなりますと、日本よりこちらで博士課程を取得した方が、一挙両得なのです。

中国のことを知るには中国に来るのが一番いいと思ったからです。

現在どのような勉強(研究)をしているのでしょうか。また中国語の魅力とはどのようなものでしょうか。

山本 私が研究している事は、中国語と日本語の発音による比較分析です。勉強はとて大変です。中国語は日本語と違い、声調がある言語です。ですが



北京にて

ら同じ音でも高さを間違えると通じません。そういう所が歌を習っているように楽しく感じます。中国語自体の魅力というより、古くから日本と付き合っている長い国の言語で日本人が漢字を今日使用しているのも中国と昔関わりが深かった証拠であると思うので、その国の言語を話せるようになりたいという気持ちで勉強に繋がってきたのだと思います。

日本の大学(大学院)と授業方法や学生の気質などに違いはありますか。

山本 授業方法の違いは博士課程でも授業数が多いこととです。予想していたよりずっと授業

数が多いです。今は週に二回の英語の授業、大学院の留学生の必修になっている「中国概況」の授業(三時間制)、その他博士の必修科目が週三回あります。学生はとも真面目で、授業中は休む間もなく誰かが先生の講義をメモにとります。朝や夕方のキャンパス内の風景はあちこちで本を片手に声を出して教科書などを読んでいる生徒であふれています。

本学でのキャンパスライフはどうでしたか。また、とくに印象に残っている授業はありますか。

山本 大学生活は多くの自然に囲まれたキャンパスでのびのびとできたと思います。特に中国語学科は2年次に短期留学プログラムがあり、留学では、同級生と約一ヶ月間共同生活をするため、他の学部より同級生同士がとて仲が良いです。また、印象に残っている授業といえは、もうお亡くなりになられた廣瀬先生の文化人類学の授業が大変印象に残っています。その授業は毎回とても興味をそそられました。中国語の授業では、会話の授業が一番楽しかったです。

休日はどう過ごされていますか。

山本 平日は時間が足りないほど勉強する事がたくさんあります。大学生の時にもっと勉強していればこんなに苦労しなくても良かったのかもしれませんが。そういう状況ですので、休日はほとんど疲れ果てて眠っています。状況は同級生の中国人の友人も同じで、先学期は学期末になってやっととはじめて街に出ました。今後慣れてきたら、もう少し週末の生活にも余裕が出てくると思います。

これからの目標あるいは修了(帰国)後の予定などをお聞かせください。

山本 博士課程修了後は日本のどこかの大学で教えられたら理想的です。難しいことを教えるよりも、生徒が中国に興味を持ってくれるような授業をし

たいと思っています。中国語は綺麗な音の言語だと思います。こちらでより綺麗な音の中国語を身につけて、理想的な音の中国語を教えられると思います。

おわりに先輩として後輩を激励するメッセージをお願いします。

山本 私もまだ、勉強して自分の夢に向かって頑張っている身ですので、何を後輩に伝えたらよいのか分かりませんが。たった一度の人生ですので、もしやりたい事があり、それを続けられる立場であるのなら、諦めてほしくないと思います。私の出逢った人がこんな事を言っていました。「人生の一年一年が缶の中の鉛玉だとして、一、二個つまみ食いしても、なんの変りもない」って。確実な道も歩きたいと思いますが、つまみ食いしてたまには冒険してもいいのでは？



2002年度入学式が4月1日(月)の午前10時30分から栄光館で挙行されました。

新入生を歓迎するかのよう満開の桜が快晴の中、1,200余名の新入生を迎えました。

式典は讃美歌、聖書朗読のもと、葛井宗教部長の祈禱ののち、この4月就任の持田辰郎学長から「学生のみならず「学」喜びの学園をつくっていきましょう。」という歓迎式辞があり、それにこたえ大学院代表の玉井徹さん(経済経営研究科経営政策専攻博士後期



2002年度 入学式を挙行

～大学院開講式、通信教育課程の入学式も挙行～

課程)、学部代表の本室由香里さん(外国語学部中国語学科)、留学生別科代表の「Miss Eunice」さん(イギリス)からそれぞれ力強く宣誓のことが述べられました。

また、式典終了後、新入生のみならず「学生生活オリエンテーション」の説明を受けている間を利用して、「ご父母にはチャペルで学長があらためてごあいさつをする」とともに、学部長、教員の部長の紹介がありました。

2002年度入学者等学生数は下表のとおりです。

大学院は
サテライトで
開講式を

大学での入学式に先立ち、大学院では平日の入学式に参加できない社会人入学生等のため、3月30日(土)午後1時30分より本学「さかえサテライト」(名古屋市中区栄中目ビル7階)で70名の入学生の出席のもと開講式が行われました。

開講式は大学院担当者の出席のもと、持田学長および経済経営研究科長、外国語学研究科長のあいさつがあり、引き続き、履修方法等大学院ガイダンスのほか、情報教育センター、図書館の利用について説明がありました。

また、昨年開設した大学院通信教育課程外国語学専攻の開講式が、全国各地から16名の新入生を迎えて5月3日(金)に挙行されました。



通信教育課程開講式

学生数(大学院・学部・留学生別) 2002年3月1日現在

大学院	研究科	専攻(課程)	1年	2年	3年	合計	
	経済経営	経済学(修士)	7	15		22	
		経営政策(博士前期)	69	83		152	
		経営政策(博士後期)	15	11	15	41	
	外国語学	英語学(修士)	6	8		14	
		中国語学(修士)	4	7		11	
通信教育部	英語学(修士)	16	22		38		
合 計			117	146	15	278	
学 部	学部	学科	1年	2年	3年	4年	合計
	経済学部	経済学科	374	373	417	612	1,776
		政策学科	164	137	168		469
	商学部	商学科	331	290	362	395	1,378
		高度経済学科	188	185	194	218	781
	外国語学部	中国語学科	61	50	60	49	220
	合 計		1,116	1,015	1,201	1,272	4,604
留学生別科 26							
総 合 計 4,908							



学長に 持田辰郎教授が就任



木村光伸前学長の任期満了にともない、2002年4月1日付けで、持田辰郎教授が学長に就任されました。

持田新学長は1952年2月生まれ、50歳で、島根県松江市出身です。東京大学文学部哲学科卒業後、同大学大学院人文研究科博士課程単位修得退学。1982年本学経済学部

講師に就任され、1993年教授となっておられます。

研究分野は西洋近代哲学で、デカルトに関する論文をこれまで多数発表されています。デカルト形而上学を「觀念の精鍊」という観点で徹底か

ら見直す作業に取り組んでおられるとのこと。これまでに学生部長、入試部長を歴任され、入試部では入試改革に取り組む、ペーパーテストに偏りがちな選抜方式を改め、日本で初めてといわれる4日間の体験入学によるAO入試を発案。受験時の学力よりも入学後

の可能性を評価する画期的な入試を誕生させました。

趣味は切手収集と野球とのこと。切手はヨーロッパ全域のものを丹念に収集されています。また野球については、本学就任以来硬式野球部の部長を務め、グラウンド内外で選手に優しく語りかける一方で、所属する愛知大学野球連盟の改革にも着手され、当番校制という古い体制を改め、加盟全大学25校が協力して学生を中心に運営するシステムを作りだされました。

新学長の課題は、年々変化する若者像にあわせ、柔軟に、本学を学生のための、それも「いまの」学生のための大学に作りかえることにあるとされ、新学長の抱負は、地道ではあっても、授業はもとより学園生活の隅々にもいたるまで学生の視点で見直すことによつて教育力を強化することに全力をつくすとのこと。

研究科長 紹介 学部長

●経済経営研究科長

山崎 貴雄 教授

●外国語学研究科長

清水 克正 教授

●経済学部長

藤原 隆 教授

●法学部長

小嶋 博 教授

●外国語学部長

清水 克正 教授

教務部長 紹介

●学務部長

葛井 嘉重 教授 (経済学部)

●学生部長

大西 成良 教授 (外国語学部)

●教務部長

岡田 千尋 教授 (商学部)

●キャリアセンター長

三枝 有 教授 (経済学部)

●入試部長

柳 善和 教授 (外国語学部)

●国際部長

新藤 清 教授 (外国語学部)

●総合研究所長

池村 輝夫 教授 (外国語学部)

●外国語教育センター長

小出 八朗 男 教授 (外国語学部)

●情報教育センター長

皆川 芳雄 教授 (商学部)

●国際交流センター長

坪田 輔 教授 (経済学部)

商学部改組への 取り組み

商学部長
小嶋 博

商学部は1992年4月、社会における有為な人材の育成を目的に1学科・4コース、定員300名の学部として開設され、今年で11年目になります。幸い、世間から好評を博し、多くの受験生にも支持されてきていますが、ここ10年の間に学部を取り巻く環境は大きな変化を遂げています。社会の経済状況、IT技術の進展

受験生の希望校選択基準、企業のニーズ等々、すべての面で変化がみられ、商学部としては、カリキュラム、授業内容の見直し等でこれらの変化に対応してきましたが、ここに、大幅な見直しが必要であると考えに至りました。見直しの大きなポイントは、社会・学生のニーズと教育内容を一致させることですが、そのためには現在の1学科

を2学科に改組し、教育内容を充実することが必要であるとの結論に達しました。その場合、新学科だけでなく、従来の学科を充実させることも同時並行的に進めることを確認し、学部改組の作業を2003年度新学期に間に合うようにということを開始しています。

改組の基本的考えを、学生の満足が得られる教育の実行という観点から、1年次から学部教員全員が小単位で学生と接触できる場を設定し、教育的には実学的方向を強めていくこととし、新学科名は少し長い名称になりますが、中身がよくわかるように、「情報ビジネスコミュニケーション学科（入学定員120名）」とすることにしました。また、商学科はそのままの名称で入学定員を180人としました。新学

科は「情報コース」と「ビジネスコミュニケーションコース」の2つに、商学科は「マネジメントコース」「ファイナンスコース」「会計コース」の3コースに改め、ともに実践性の強い科目を配置しています。とくに、これまででありがちな資格を取ったり技術を磨くには専門学校へ行かねばならないという矛盾した現象をなくすため、学部の授業を受けることにより資格試験も技術の向上も理論的理解も達成可能であるような科目配置をするとともに、1年次から必修の「教養演習」を設け、きめ細かい指導ができるよう配慮しています。

今回の改組で、商学部は一段と充実した教育サービスを提供できるようにと確信していますが、さらに、学部教員全体でそのように努力したいと決意しています。

授業科目名	単位数	履修年次	授業科目名	単位数	履修年次
商学概論	1	4	経営情報分野		
経営管理論	2	4	アルゴリズム基礎実習	3	2
人的資源管理論	2	2	情報処理演習 3	3	2
財務管理論	3	2	情報処理演習 4	3	2
金融基礎論	2	2	情報処理システム設計実習	3	2
簿記 I	1	4	コンピュータ会計実習	3	2
会計学	2	4	オペレーションズリサーチ	3	2
原価計算	2	4	マルチメディア実習 3	3	2
経済学	1	4	情報社会	3	2
民法	2	4	情報特論	2	2
商法	2	4	ビジネスコミュニケーション分野		
企業法	2	2	多国語企業論	3	2
数量演習	1	2	国際物流論	3	2
専門演習	3-4	12	国際マーケティング論	3	2
数量基礎講座	1	2	国際マーケティング政策	3	2
能力開発総合講座	2	2	米国ビジネス事情	2	2
スキルアップ総合講座	3	2	EUビジネス事情	2	2
日本語表現 1	1	2	アジアビジネス事情	2	2
日本語表現 2	2	2	ビジネス事情特論	3	2
英会話 1	1	1	ビジネス外書講読	3	2
英会話 2	1	1	プレゼンテーション技法	3	2
			ビジネス英語 3	3	2
総合分野			ビジネス英語 4	3	2
経営学総論	1	4	ビジネスコミュニケーション特論	1	2
マーケティング	2	4	海外事情 1	1	2
eコマース	2	2	海外事情 2	1	2
国際経営論	2	4	時事問題	1	2
流通システム	3	4	社会事情 1	2	2
ロジスティクス	3	4	社会事情 2	3	2
金融システム基礎	2	2	インターンシップ 1	1	2
国際金融論	3	2	インターンシップ 2	1	2
外国為替論	3	2	基礎ビジネス中国語 1	1	2
経営情報分野			基礎ビジネス中国語 2	1	2
経営情報システム	3	4	ビジネス中国語 1	2	2
情報基礎実習	1	2	ビジネス中国語 2	2	2
情報とコミュニケーション	1	2	基礎ビジネス韓国語 1	1	2
コンピュータコミュニケーション	1	2	基礎ビジネス韓国語 2	1	2
経営情報処理	2	2	ビジネス韓国語 1	2	2
情報処理演習 1	2	2	ビジネス中国語 3	3	2
情報処理演習 2	2	2	ビジネス中国語 4	3	2
プログラミング 1	2	2	ビジネス韓国語 3	3	2
プログラミング 2	2	2	ビジネス韓国語 4	3	2
データマイニング	2	2	ビジネス特論	2	2
コンピュータ演習実習	2	2	英語圏短期留学	2	2
マルチメディア実習 1	2	2	中国語圏短期留学	2	2
マルチメディア実習 2	2	2	韓国語短期留学	2	2
情報ビジネス論	2	2			
情報倫理	2	2			
情報と職業	2	2			
ビジネスコミュニケーション分野					
貿易実務	2	4			
ビジネスコミュニケーション	2	2			
ビジネス応用語法	2	2			
基礎ビジネス英語 1	1	2			
基礎ビジネス英語 2	1	2			
ビジネス英語 1	2	2			
ビジネス英語 2	2	2			
異文化コミュニケーション	2	2			



今年の春、学内に名古屋学院大学ボランティアセンター（以下「ボラセン」とよぶ）が設立されました。このボラセンとは、ボランティアを希望する学生とボランティアの受け入れ団体との架け橋的な役割を担うと共に、実際のボランティア活動を組織的に行うことを目的としています。

すでに多くの学生がこのボラセンに登録（4月末現在で56名）し、窓口業務を始め、本学の近くに同時期にオープンした知的障害者厚生施設「まゆ」や、瀬戸市中心市街地に今年の2月にオープンした老人ケアハウス「楽楽」との交流等、活発に活動を進めています。

私は、このボラセンを特色ある大学教育の一環として捉えています。その活動を通じて、多くの学生に社会公益的な活動への参加や地域社会との交流を促し、彼らが社会の担い手としての視点を育み、「学ぶ喜び」を体感することを期待しています。ボラセンの設立に私が関わることになった

名古屋学院大学 ボランティアセンター 発足にあたって

volunteer

水野 晶夫

（経済学部助教授）
（名古屋学院大学ボランティアセンター代表）

チンクがうまくいかず、小さなトラブルも経験したため、大学内に両者の橋渡しをする専門的なコーディネーター機関の設立の必要性を強く感じるようになりました。

一方、人コミュニケーションの学生メンバーが中心となって、国連諸機関であるIAVE（ボランティア活動推進国際協議会）が開催した「青年ボランティア世界会議」で「まちづくり」分科会の運営・コーディネーターを担当しましたが、そのプログラムには「ボランティアコーディネーター」に関するテーマも含まれており、そこでの会議を通じて、ボランティアコーディネーターの重要性やその役割を担うボランティアセンターの必要性について、改めて彼らは学んできました。

彼らの人的資産を大学内に生かすためにも、ボランティアコーディネーターを専門的に扱う組織の必要性を感じ、何人かの教職員の方々の協力を得て、「名古屋学院大学ボランティアセンター設立準備会」を発足させ、教職員の管理・監督のもと、学生が主体的に運営できる仕組みを作りました。そして、先の青年ボランティア会議に参加・参観した学生達を中心にゼミや授業等で声をかけたところ、23名もの学生有志が集まり、学生代表の高島賢二君（本学大学院生）を中心に活動が始まりました。

たきつかけとして、次の2つの点があげられます。まず、2000年度政策学科設立以来、私が担当している授業「まちづくり研究入門」で、多くの学生にボランティア、まちづくり活動への調査や参加を促してきました。また、昨年4月より、名古屋学院大学まちづくりNPO人コミュニケーション倶楽部の設立に関わり、これまで瀬戸の福祉団体を始め、多くのNPO団体との交流を経験してきました。

それらの活動を通じて、学生達から、「ボ

ランティアをしたいが紹介してくれないか」「バイトとは別に、社会に役にたつ仕事をしたが何かないか」等の質問を度々受けるようになりました。また、交流のある福祉団体やNPO団体の方々からも、「ボランティアを募りたいが協力してくれる学生さんはいないか」等の要請も受けるようになりました。

そこで、私ができる範囲でその情報の架け橋的役割を担うことができましたが、自身の知識と時間の不足から、時には両者のマッ

2005年にはこの地域で国際博覧会が開催されます。そこで、万博開催時には、このボラセンが核となって多くの学生に対してボランティア・市民参加の情報を提供するとともに、コーディネーターとしての役割が担えるような組織に育てていきたいと考えています。

2002年度入試結果

● AO・推薦入学試験結果

(女子数以内数)

区分	学科	推薦	AO	推薦	AO	推薦	AO
AO	経済	経済	32	4	32	4	32
	経済	政策	39	8	39	8	39
	経済	社会	74	15	74	15	74
	外国語	英語	35	25	34	24	34
指定校推薦	経済	経済	65	4	65	4	65
	経済	政策	37	2	37	2	37
	経済	社会	82	20	82	20	82
	外国語	英語	47	38	47	38	47
スポーツ推薦	経済	経済	24	1	24	1	24
	経済	政策	23	1	23	1	23
	経済	社会	35	0	35	0	35
	外国語	英語	82	2	82	2	82
一般推薦	経済	経済	43	0	42	0	34
	経済	政策	13	0	12	0	10
	経済	社会	40	2	37	1	27
	外国語	英語	10	7	10	7	8
AO・推薦試験合計	経済	経済	164	9	163	9	155
	経済	政策	112	11	111	11	109
	経済	社会	231	37	228	36	218
	外国語	英語	92	68	91	67	89
合計			622	132	618	130	594

区分	学科	推薦	AO	推薦	AO	推薦	AO
AO	経済	経済	120	13	113	13	73
	経済	政策	123	23	117	21	78
	経済	社会	55	40	52	38	41
	外国語	英語	14	4	14	4	12
合計			312	80	296	76	204

※推薦入学で選考された者に面接試験への出席資格が与えられる。
※経済学部は推薦入学は学部単位で行う。学科は面接試験出願時に選択。
※高校生英語スピーチコンテスト優秀者は含まない(英語学科5名)。

● 一般試験結果

区分	学科	前期	後期	前期	後期	前期	後期
経済	前期A	536	32	527	32	366	27
	前期B	88	8	86	8	61	5
	後期	118	7	112	7	58	4
	計	741	47	725	47	485	36
政治	前期A	60	4	60	4	52	4
	前期B	27	2	27	2	26	2
	後期	50	7	48	6	24	6
	計	142	13	140	12	111	12
商	前期A	254	29	250	29	163	20
	前期B	55	8	55	8	43	8
	後期	79	9	76	8	40	8
	計	388	46	381	45	246	36
外国語	前期A	197	93	192	90	124	64
	前期B	80	43	79	42	49	30
	後期	62	31	59	29	37	20
	計	339	167	330	161	210	114
中国語	前期A	66	30	66	30	59	27
	前期B	10	3	10	3	9	3
	後期	15	8	15	8	13	8
	計	91	41	91	41	81	38
合計		430	208	421	202	299	157
前期計		1,377	262	1,367	248	952	190
後期計		324	62	310	58	189	31
総計		1,701	324	1,677	306	1,141	221

● 特別試験結果

区分	学科	推薦	AO	推薦	AO	推薦	AO
推薦子女	英語	1	1	1	1	1	1
	経済	2	1	2	1	2	1
留学生	経済	2	2	2	2	2	2
	英語	2	2	2	2	2	2

18歳人口の減少と大学収容人員の増加、さらに経済不況による国立・私立大学も重なる、私立大学の入試環境は年々厳しくなっています。今年4月のマスコミ報道では、昨年4月の段階で、全国の私立大学のうち約3割が定員割れを起しています。そうした中にある本学は、2002年度入試をAO入試、推薦入試、一般入試を軸として実施し、全学部で1116名(入学定員950名)の入学者を迎えることができました。特に3年目を迎えたAO入試は、8月に実施した体験入学で312名(前年度256名)の申込がありました。本学のAO入試は、4日間の体験入学により選考を行う全国

的にも例がない入試ですが、新タイプの入試として完全に定着しました。また、推薦入試も前年度なみの志願者があり、本学を第一志望とする受験生を対象にしたAO・推薦入試で、前年度より10%以上増加しました。一般入試でも、競争倍率が全学部の平均で15倍と、前年度の水準をキープしています。大学進学者の学力低下、多様化ということが言われており、大学のあり方がこれまで以上に問われる時代になりました。2003年度入試においても、本学ではどのような学生を入学させたいかという姿勢を、アドミッションポリシーとして明確にしていきたいと考えています。

NGU Focus

2002年度入試結果と2003年度入試に向けて

2003年度入試日程

学 部

8月22日(木)	AO入試(体験入学)
～25日(日)	
10月19日(土)	AO入試(面接試験)・編入学前期試験(一般/指定校推薦)・特別試験(外国人留学生前期(一般/指定校推薦))
11月16日(土)	指定校推薦試験・スポーツ推薦試験前期
11月23日(土・日)	一般推薦試験
2月 1日(土)	一般試験前期A方式(試験日自由選択制試験)
2月 2日(日)	
2月 3日(月)	
2月 4日(火)	一般試験前期C方式
	編入学後期試験(一般/指定校推薦)
2月 2日(日)	特別試験(外国人留学生後期(一般/指定校推薦)・海外帰国子女・社会人)
2月27日(木)	一般試験後期・スポーツ推薦試験後期



瀬戸産業史の現場

～陶土採掘の風景～

笠井雅直 (経済学部教授 日本経済史 日本経済入門担当)

かつての瀬戸電鉄沿線案内には、瀬戸陶祖の碑、愛知県立窯業学校や瀬戸陶器工場などの案内や写真は載っているが、肝心の瀬戸陶磁器産業の原料供給地である陶土の採掘場は載っていない。

実は、陶土採掘場が現在の姿になったのは比較的最近のことであった。

歴史をふりかえれば、瀬戸陶磁器産業が大きく発展するのは、日清戦争後の1899(明治32)年に瀬戸陶磁器工商同業組合が組織されたことで、陶土採掘が同組合の直営事業となり、粗製産物を防ぐべく、精選した後、実費で組合員に配給を実施してからであった。そして1904(明治37)年には合資会社組織の製土工場として陶器原料貯蓄場が創設され、大量の製土精製をはじめ、もちろん、明治の輸出産業における有力な一角を陶磁器産業が担うという歴史的な背景に支えられたものであった。同組合は、当時の瀬戸町だけでなく、品野、水野、高蔵寺の各村を含む東春日井郡一円の同業者や名古屋市内西区則武町、愛知郡幡豆山村、西加茂郡保見村、藤岡町、猿投村等に散在する同業者を含んでいた。陶磁器産業の発展は、瀬戸の陶土供給にかかっていたのであった。

この発展は窯業のエネルギー革命にもよっていた。もともと、瀬戸の窯業は、燃料を赤松の生産にたよっていたために、周辺の小丘陵の赤松を次第に切り尽し、ついには陶土の露出した禿山にしてしまったことがあった。このため、燃料を他に仰ぐはかなくなり、瀬戸まで運賃をかけて運搬することとなった。この原料問題の隘路は、1902(明治35)年の石炭窯の発明によって解決する。しかし、

これらの禿山は水害を招きやすいというところで、「懸崖絶壁ノ禿山ハ砂防ノ為全山萩ヲ植付ケ」という砂防工事を国の支援で実施する。結果として、その地は「花期来タリ遊ブモノ多シ」と言われる遊覧地となった。それは、1910(明治43)年に後の大正天皇が「砂防視察」の際、利用した「眺望瀬戸第二」の「小亭」が「萩ノ御殿」と命名されたことにもよっていた(「瀬戸電鉄沿線案内」大正4年ころ)。

しかし、第一次大戦期の異常な発展、そして満州事変以降の輸出拡大は、陶土採掘の規模とスピードのアップを遂げたいものとした。写真は、昭和10年ころの採掘現場のものである。至る所にトロツコ用のレールがはりめぐらされていて、採掘の盛んな様子がうかがわれる。陶土の採掘方法は、瀬戸地方では専ら露天掘りであり、鶴嘴などで剣土を行い、陶土層に至って採土するものであった。運搬用具としてはモーターによるトロツコ引き上げケーブル施設などが採用されている外は、極めて原始的な採掘方法が行われていた。採土作業は基本的には人間の眼による選択、選別労働に依っていたためであった。

砂防林として始まった萩の花の名所は、ここから瀬戸版ランドキヤニオンに変身したのであった。瀬戸の町は産業観光一色となったのである。(「瀬戸市振興に関する調査報告」瀬戸市、昭和25年などによる)。

私の講義日誌

2002年4月25日(木)2限
26日(金)2限
ベア科目

担当者 小松 照幸



比較文化論

そもそも私は大学の教師になろうなどと、若いときに考えたことがあったのだろうか。否、大学の先生という人は、私にとっては高嶺の花でしかなかったと記憶している。今回自分自身の大学教師としての経験をもとに、このような形で書かせていただくのは、おそらく初めてのことであろう。

日々の教育現場では、どのように授業を組み立てて学生諸君にすばらしい教育効果を与えることができるのだろうか、この15年間悩んでいる。現在私が教えている学生に対して、彼らの気持ちや悩みをどう理解して担当科目の教育を全うすれば良いのだろうか？ 学生の心の問題へのサポートは、担当科目の教育効果を上げるためにも必要な努力であり、今日の学生への教育には両輪の輪であると思う。教育現場では毎日折るような気持ちで真面目勝負をしているが、初心を忘れないために、よく自分自身の学生時代を思い起こすことがある。自分の教育に対する現在の考え方や行動は、詰まるどころ自身の生き様との関わりであると考えている。

さて、私の担当科目は「比較文化論」で、学生にとっては面白そうだが理解しにくい分野かもしれない。比較文化論については、学問領域・性格の問題、学際研究そのものの概念を含めた学説の展開問題があるが、ここでは私が選んだアプローチとしての(比較)文化心理学がある。文化と人間心理との関わりを学ぶ分野である。講義の基本概念は自己理解、他者理解、自文化理解、異文化理解である。学生は異文化といえど特定の外国文化や社会を思い浮かべるが、この分野はステレオタイプの表面的な文化理解を超えて、心のプロセスを文化慣習や集合的意味の体系と捉え、そしてその創造・維持・変容のダイナミックな相互構成過程を学習するのである。その事を理解するのはそれほど簡単ではない。

毎年毎学期、初めて学生と対面すると彼ら全体が作り出す雰囲気は毎回違っている。教科書は、残念ながら自分が考えるコンセプトに合ったものがなかったため、数種類の指定図書と配布プリントで授業を構成している。納得できる白紙の教科書を作成する事は急務だが、なかなかできず世間(じく)なる思いがある。学生への要求は、手習い・復習・指定図書の読破、毎回の小論文、授業ノートの完成、7,000

字以上の期末論文などを課している。私語は一切許可しない。集中力が途切れるからである。私の授業に特色があるとすれば、毎回授業の最後に書いてもらう自由な感想文である。それには講義内容への質問・個人の悩み・相談事、担当教員への質問など、率直・自由に様々な事が書かれている。一般に日本の学生は授業での発言や討論能力は、欧米の学生と比較して決定的に弱いと思われるが、書くことによる自己表現能力は捨てたものではない。いわば口よりも手からである。こうして書かれたことに對して私は次の授業で真摯に答えているが、そのことにより学生の心を引きつけることができているようだ。質問や感想の内容は、時として授業内容とかけ離れていることもあるが、彼らにとっては今のところの答えを求めている。もう一つの特徴は、対人関係能力としての「友達づくり」である。授業中に、いきなり相手を探して10分程度の自己紹介や、授業内容に関する対話を行っている。学生が大学生活に喜びを見いだせないのは、キャンパスライフで疎外されていることが、大きな要因である。大学生活では、何とも自分自身で積極的な学習を行ない人間関係を作る能力が必要だが、毎年多

くの不適応学生がみられ、彼らの心の問題は深刻である。ルース・ベネディクト以来言われてきた呪の文化は、今も生きている。学生にとつて、見知らぬ隣人の学生に声を掛けることは、死ぬほど恥ずかしいのである。自己・他者そして異文化を見る目がこれ程荒れていては、とても洞察をもて他人を理解し其生の道を導くことはできない。何とも実践であり実行である。思考の鍛錬だけでは教育は不十分である。

最後に、学生の教育に関わるキリスト教主義大学の精神は、教員だけでなく職員においても十分に具現化されているとは思えない。他者を批判するほど思い上がってはいけないが、イエスが死の前に弟子の足を洗う。師である人が弟子の前でまさに奴隷のようにひざまずきユダも含めてその足を洗われるのである。「もしわたしがあなたを洗わないなら、あなたはわたしと何のかかわりもないことになる」と告げる。主はあきらめなかった。そして徹底して愛し抜かれた姿をそこに現る。学生は次の世の担い手である。偽善者の陋習を恐れつつ、私がこれまで社会的使命を果たせるか、もう少し努力を続けたい。

(こまつてるゆき 経済学部助教授)



「はじめに神は天と地を創造された。地は形なく、むなしく、やみが淵のおもてにあり、神の霊は水のおもてをおおっていた。」（創世記第1章1-2節）「六合」と言う言葉は元々、『続日本紀』『神皇正統記』にも出てくる日本古来の言葉で、直接、聖書の表現にはありませんが、「東、西、南、北に天と地」を合わせて六合と呼ぶのは、神様が創られた宇宙（コスモス）を意味し、宇宙の真理を探索する大

六合館

名前の由来

聖書と教室

シリーズ①

六合館（りくごうかん）

二つの丘にブリッジ状に建てられており、南側の池をはさんだキャンパス周遊道路から見る四季折々のながめはキャンパス随一。

総延べ面積9,871.98㎡ 1987年竣工。

主としてゼミや講義など小人数授業が行われる教室棟。希望館ができるまでは、3階部分に教務課や学生課など事務局があった。1989年外国語学部開設時に一部増設、2000年にエレベーターを設置した。

- 5～6階 30～60人教室40教室
- 4階 200人教室4教室
- 3階 15～60人教室10教室のほか生物教室、化学教室
- 2階 LL, CALLラボ, CAID教室のほか外国語教育センター



学本来の姿を象徴したものです。建物、東から見れば3階建てですが、西から見れば6階建てなのです。

キリスト教主義教育を教育の基本方針としている本学では、学内の至るところにキリスト教に由来する事柄が存在しています。新シリーズとして「聖書と教室」をスタートさせ、聖書の言葉を引用した教室群を紹介していくこととしました。

引用されている聖書の言葉は「口語訳聖書」からですが現在大学で使用している聖書は「新共同訳聖書」です。

総合研究所EXPO2005プロジェクト研究（代表：小林甲一経済学部教授）のシンポジウムが、3月11日（月）に名古屋ガーデンパレスで開催されました。スタートしてすでに4年、その間、愛知万博をめぐる動きは紆余曲折しましたが、「EXPO2005が地域に及ぼす経済的・社会的・文化的効果」について「地域の視点」から見ていくという立場からさまざまな研究調査活動が続け、シンポジウムも、「地域の経済社会とEXPO2005」（第1回）、「地域からの再考：EXPO2005」（第2回）、「EXPO2005：地域の知恵」（第3回）と、常に地域に「あたり、これ」第4回となりました。

2001年、わが国では、うつくしま未来博（福島県・山口きらら博・北九州博覧祭と、3つの地域でジャパニエキスポが同時に開催されました。これらは、まさに地域が主体となり、地域の特性を生かしながら地域の発展のために開催された博覧会です。



EXPO2005
シンポジウム

「地域を生かす博覧会」
を開催



そこで、今回は、「ジャパニエキスポ2001から愛知万博へ」（副題）ということで、各地域の担当者をお招きし、「どうすれば博覧会の開催効果を地域によりよく生かすことができるか」についてパネリストや参加者とともに考えてみました。参加者は、愛知万博関係者、自治体担当者、一般市民など、約200名。地域博覧会報告ののち、活発なパネルディスカッションが展開されました。

シリーズ
Circle通信

文化会

新入生の皆さん、もうサークルは決まりましたか？いろいろなサークルを見てじっくり考えて決めてください。

私たち陶芸部は、瀬戸の文化を活かしたサークルです。陶芸部は主に、11月の大学祭のときに行われる陶芸館まつりに向けて、日頃から各自でテーマを決めて陶芸作品制作に励んでいます。8月には大学主催の「親子陶芸教室」のお手伝いをさせていただいたり、一般



の方々といふれあいがらの活動もしています。そして、本年度からは、瀬戸のまちで展示会を行い、「せともの祭り」に参加するなど学外での活動も活発にしていきたいと思っています。

私はこの大学に入學して何のサークルに入部するか迷っていました。なんとなく陶芸をやってみようかなと思いい、陶芸部に入部しました。陶芸は始めのうち

は難しいですが、練習を積み重ねていくことで次第に自分の思ったとおりの作品を作れるようになります。完成した作品は、陶芸館まつりで一般の人たちに見てもらい、気に入っていただけた作品を売っていただくこともあります。一般参加者の中には陶芸の経験者や陶芸に詳しい人たちがいらつしやるので、その人たちのアドバイスも参考にしながら、作品制作に励んでいくのです。

皆さんの中で少しでも「陶芸をやってみよう」という人は一度、陶芸館に足を運んでみてはいかがでしょう？名古屋学院大学の陶芸館は設備が整っています。陶芸館には、ガス窯と電気窯の二つの窯があるので、作った作品をその場で焼くことができます。陶芸部では自分が作りたいものを納得するまで作ることができます。陶芸をやりたい人は一度、陶芸館に来てください。

陶芸部で、瀬戸の文化に接してみたいかがですか？

(経済学部政経学科3年 小川晋大)

陶芸部

チャペルのかたすみで⑤

聖人について

キリスト教センター
山田直義

カトリック、聖公会には、聖人という人が存在する。殉教者や、特に信仰と徳に秀でた死者を、教皇の権限によって聖人と宣言し「列聖」、教会暦にその記念日を定め、その功徳が信徒の救いに有効であると認め、崇敬の対象としており、聖人カレンダーを見ると、ほとんど一年中誰かの記念日になっています。カトリックでは、「信仰のみではなく、「行い」も救いの条件に加えているので、「優れた人」の行為の影響が本人だけでなく他の人にまで及ぶと考え、聖人の守護聖人」と言

う受け止め方で、日本での神社の御利益と混同するやうな誤解が生じてしまっています。また民間信仰と結びついて神話的なものも伝えられています。みなさんの知っている聖人としては、新約聖書に出てくる12使徒（イスカリオテのユダは除く）は勿論知っているが、フランシスコ・ザビエルの名前位は聞いたことがあるのではないのでしょうか。日本人では、2月5日に長崎殉教聖人殉教者も加えられています。

次に有名（一般人に）なのがセントヴァレンティン（バレンタイン）の由来。元来、子どもや家畜の守護聖人として親しまれていましたが、同日に同じ名前の司祭が殉教しており、語がややこしくなっています。中世になって古代ローマの習慣と入り交じって、バレンタインの記念日に、異性に愛の告白のカードを渡す習慣が広まったのを、1960年頃から日本のチョコレートメーカーがキャンペーンを張って現在の大騒ぎに至っているのです（勿論、3月14日のホワイトデーに、マシマロの聖人や、お返しに聖人はいません）。

1986年になって、4月23日の聖ジョージ（サンジョルディ）の記念日を「本とハート」を送る日にしようと言うキャンペーンを張った人がいますが、これは今の所成功していません。明暗入り交じった社会生活の中で、ちよとした遊び心やユーモアが垣間見られるのは結構なことですが、ものの本質を見失ってはいけません。色々な事柄の起源・由来を確かめて、他人に感化されるのではなく、自分自身の感性・理性による評価・判断をして行きたいものです。（ちなみに、私はチョコが好きではありません）



2001年度卒業証書・学位記授与式を挙行



2001年度卒業証書・学位記授与式が3月15日(金)午前10時30分から栄光館で挙行了されました。

2001年度の卒業生、修了者は学部1,075名、大学院65名、留学生別科6名で、木村学長からそれぞれ学部学科代表、専攻代表に卒業証書・学位記、修了証書が授与されました。また、同時に学長表彰が行われ、11名の成績優秀者に学長から表彰状と記念品が授与されました。授与式終了後、それぞれ学部別に卒業パーティーが開催され、卒業生にとっても忘れない1日となりました。

木村光伸学長が退任

2000年4月第8代学長として就任された木村光伸学長が2002年3月31日をもって退任されました。

木村学長は1991年の大学設置基準の大綱化以降、本学のカリキュラム改革の中心的役割を果たされるとともに、全学共通教育運営委員長として教学改革をすすめてられました。学長就任後は、教学の責任者として理事長とともに大学運営に尽力、とくに学生の立場にたった学内行政ではFD活動の推進、キャンパスコミュニケーションシステムの構築、キャリアセンターの充実等多くの足跡を残されました。



一方、地域との連携を大切にされ、愛知万博検討会議への参画、瀬戸市各審議会委員等への就任は、本学がこれまでできなかった地域のかかわりを、積極的にすすめてられました。

なお、本学の学部・大学院の卒業生数、修了者数累計は次のとおりです。

●経済学部	25,693名
●経済学部国際学科(英語)	2,462名
●国際学部	1,718名
●外国語学部	565名
●経済経営研究科	254名
●外国語学専攻	28名

NGUチャペルコンサート

キリスト教センター主催の「第40回NGUチャペルコンサート」が左記のプログラムで開催されます。多くのみなさんの入場をお待ちしております。



プログラム

- J.S.バッハ トッカータ ヘ短調 BWV542
- J.P. スウェーリング 鐘のソナタ
- 器楽演奏 その他

父母懇談会スケジュール

開催日	会場
8月24日(土)	浜松会場(浜松名鉄ホテル)
	岡山会場(ホテルニューオカヤマ)
	松本会場(ホテルブエナビスタ)
8月31日(土)	金沢会場(金沢都ホテル)
	津会場(ホテルグリーンパーク津)
	岐阜会場(ホテル330グランド岐阜)
9月7日(土)	彦根会場(グランドデュークホテル)
9月28日(土)	大学会場

2002年度父母会総会が6月29日(土)午前10時30分から本学で開催されます。総会では予算・決算および役員改選などの議題審議のほか、学長、学部長から大学の近況や各学部の教育方針について報告させていただきます。詳細は別途ご案内させていただきます。詳細は多数のご出席をお待ちしております。

また、すでに前号でもご案内しておりますが、各地域で開催される父母懇談会の日程は次のとおりです。

2002年度父母会総会と父母懇談会のご案内

2002年

5月～10月

行事予定

5月

23日(木) 健康診断(2・3年生)→24日(金)まで

6月

1日(土) 第40回NGUチャペルコンサート
神戸松蔭女子学院、明治学院
オルガニスト 長谷川美穂さん
留学生別科フィールドトリップ
知多・伊勢方面→7日(金)まで
12日(水) 学生大会(栄光館)
16日(日) 実用英語技能検定2級・準2級
26日(水) 派遣留学生帰国報告会
29日(土) 派遣留学生オリエンテーション
父母会総会
献金運動

7月

12日(金) 留学生別科修了式
15日(月) 留学生インターンシップ→26日(金)まで
20日(土) オープンキャンパス
22日(月) 英語教育セミナー→25日(木)まで
26日(金) 公開講演会 外語センター
[さかえサテライト]

8月

1日(木) 世界の聖書展 [さかえサテライト]
→15日(木)まで
10日(土) 通信教育課程スクーリング→13日(火)まで
19日(月) TOEFL・アカデミックスキル特別講座
→9月8日(金)まで
20日(火) オープンキャンパス
22日(木) AO入試(体験入学)→25日(日)まで
24日(土) 父母懇談会(浜松・岡山・松本)
31日(土) 父母懇談会(金沢・津・岐阜)
キャンパスコミュニケーション見学会
親子陶芸教室

9月

7日(土) 父母懇談会(彦根)
15日(日) 大学院通信教育課程第Ⅰ期入試
英語学専攻
17日(火) 留学生別科入学式
21日(土) 大学院修士課程第Ⅰ期入試
経済学・英語学・中国語学専攻
28日(土) 父母懇談会(本学)
大学院博士前期課程第Ⅰ期入試
経営政策専攻
30日(月) 春学期卒業証書・学位授与式
秋学期開始

10月

4日(金) 大学院秋季期入学式
6日(日) 高校生英語スピーチコンテスト
[さかえサテライト]
15日(火) 創立記念日
19日(土) AO入試/編入学試験/
外国人留学生特別試験
29日(火) 留学生別科フィールドトリップ
白川郷・金沢方面→31日(木)まで

本学の大学院経済経営研究科に博士後期課程を設置して満5年となりますが、このほど名古屋銀行加藤千磨頭取に本学名誉学位



加藤名古屋銀行頭取に
名誉経営学博士の
学位を授与

日程 4月24日(水)
午後5時30分～6時30分
会場 本学さかえサテライト
(名古屋市東区中區中二丁目7番)
講師 加藤千磨氏
(名古屋銀行頭取、中国経済同友会幹事)
テーマ 金融体制の変化

規程にもとづく初めての「名誉経営学博士」の学位が授与されることになり、その授与式が3月29日(金)午前11時からチャペルで挙行されました。深い学識と経験を持ち、社会・文化の発展に貢献し、また、本学の研究および教育に著しく貢献が学位授与の理由となっています。授与式は木村学長、可見島経済経営研究科長の式辞ののち、学位記ならびに記念品が授与され、内山理事長から祝辞が述べられました。加藤名古屋銀行頭取からは地域社会、経済にさらに貢献していきたいとの謝辞が述べられました。なお、この名誉経営学博士授与を記念して次の特別講義が開講されました。



2003年度入試にむけて、また本学の公式大学案内となる「2003年度版大学案内」が完成しました。入試広報で高校や受験生に配布するとともに、企業や来学者に広く本学を紹介するために利用されます。

2003年度 大学案内を作成

2002年度 特別講師紹介

2003年度版は、全面改訂が行われ、各学部の教育カリキュラム等の紹介や受験生向けキャンパスライフの紹介などさらに充実した内容となっています。

担当科目
中国語演習:会話2
中国語演習:会話3
応用中国語1,2 他

趣味
散歩、ダンス

学生へのメッセージ

君子之学也美其身
(現代中国語訳:有徳徳的人努力学習是為了使自己更加完美)



楊潤陸



表紙写真／コミュニティスクールバスの出発式

本学スクールバスを大学近隣のみなさんにコミュニティバスとして開放することとなり、主な利用者である小学生みなさんの出席のもと4月に出発式が行われた。

学校法人 **名古屋学院大学**

発行日 ■ 2002年5月20日

編集 ■ 名古屋学院大学 広報委員会

発行者 ■ 名古屋学院大学 学長室広報課 愛知県瀬戸市上品野町1350
〒480-1298 TEL 0561-42-0317 (広報課) ISSN 0915-8901

本学の情報はホームページでもご覧いただけます

<http://www.ngu.ac.jp/>